

令和 8 年度

神栖市の未来について語ろう！

市政懇談会

～豊かで活力みなぎる神栖市を目指して～

会議録

日 時： 7 月 23 日（木）午後 6 時 30 分から

場 所： はさき保健・交流センター 大会議室

ご意見・ご要望の一覧

項 目	ページ
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用方法について	1
土地改良事業で整備が完了して引き渡された土地に市外事業者が作付けを行っていることについて	
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した低所得者向けの給付実績について	2
基金残高の目標額について	
上下水道事業の市債残高を減らすための整備方針について	
十町歩地区の滞(みお)の溢水について	3
市外業者に電気工事を発注した理由について	
市の未来について市民同士で話し合う場がほしい	
難関資格の取得を目指せるような教育環境の整備について	4
矢田部・波崎地域の農業振興地域の見直しについて	
市の回答に納得がいかない場合の対応について	5

神栖市の未来について語ろう

市政懇談会 ～豊かで活力みなぎる神栖市を目指して～

ご意見等の要旨	回 答	その後の対応
物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金を 活用した給付金等は、全 員が恩恵を受ける方法 にしてほしい。	他の懇談会会場でも、同様のご意見をいただいております、 真摯に受け止めています。 神栖市への交付額は約 5 億 4,000 万円でしたが、これは 人口約 9 万 3,000 人で公平に分けると 1 人あたり約 5,800 円となります。また、全員に給付することで、給付に係る 事務経費も大きくなります。 物価高騰が続く中、特に子育て世帯を手厚く支援したい との思いで、交付金を子育て世帯への給付や学校給食費 の無償化、かみすプレミアムクーポン券に活用しました。 高齢者の皆さんには、9 月に敬老祝金の支給があります ので、ご理解いただきたいと思います。	当日回答のとおり
土地改良事業について、 本郷高野地区でかんし ょの栽培をしているの は九州の事業者と聞い たが、事実関係を確認し たい。地元の要望を受け て土地改良事業を行っ たにも関わらず、市外の 事業者が作付けを行っ ている状況に違和感が ある。	土地を引き受けているのは地元の法人です。そこが委託 して、実働しているのが九州の法人かと思います。	当日回答のとおり

ご意見等の要旨	回 答	その後の対応
市ホームページに掲載されている物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に係る事業の実施計画には、低所得者向けの給付について記載されているが、実績にその記載がないのはなぜか。	かみすプレミアムクーポン券等のように令和7年度の交付金を活用して令和8年度に実施している事業もありますので、事業が完了し、決算が確定次第、実績をホームページで公表します。	当日回答のとおり
基金残高の目標額を伺いたい。	神栖市では、年度当初に40億円の貯金（財政調整基金）を積み立てておく必要がありますが、ここ数年間、目標額の貯金をするために借金（調整債の発行）をしてきました。令和9年度の予算編成にあたり、貯金するための借金を0にします。基金残高の目標額については、向こう3年程度で数億円ほど財政調整基金を積み増しできればよいと考えています。	当日回答のとおり
水道事業及び下水道事業の市債残高は増加傾向であり、今後も老朽化した水道管の更新などにはお金をかけなければならないと思うが、市債残高を減らすために、どのような整備方針を立てているのか伺いたい。	基本的には、上下水道ともに新設はあまり行わず、老朽管の更新を中心に整備を進めていきます。 また、上下水道の工事に係る起債は、お金を借り入れてから4年目に返済が始まるため、水道事業及び下水道事業の市債残高については、今後横ばいで推移していくものと考えています。	当日回答のとおり

ご意見等の要旨	回 答	その後の対応
十町歩地区にある実家では、大雨が降ると濡（みお）から水があふれてしまい、そのたび浸水被害に遭っている。濡（みお）の底に砂がたまり浅くなっているため、掘ってほしい。	改めて現地を確認し、可能な限り迅速に対応します。対応に時間がかかるものがある場合は、直接ご説明します。	当日回答のとおり
市が、潮来市にある市長の知り合いの事業者に電気工事を発注したと聞いたが、神栖市内にも事業者がたくさんある中、なぜ他市の事業者に発注したのか。	かみす聖苑が停電した際、施設の特性上、一日も早く復旧させる必要があると判断し、修理に必要な部品の在庫を保有していた当該事業者修理を依頼しました。 その結果、金曜日に停電が発生し、当初は修理に1週間程度を見込んでいたところ、友引であった月曜日に修理していただき、火曜日には通常どおりの業務を再開することができました。	当日回答のとおり
免許返納した高齢者にとって、現在の公共交通では不十分であるため、土合地内を巡回し、既存のバス路線（海岸線・利根川線）を繋ぐコミュニティバスを導入すれば、土合地内が活性化すると考えている。このような未来について、市民同士で語り合える場を提供してほしい。	今あるデマンドタクシーとコミュニティバスのより良い運用方法を検討していきますので、今後ともご意見をいただきたいと思います。 また、未来について語り合う場は、まさに市政懇談会がその場であると思います。本年度予定している市政懇談会は次回で最後になりますが、一定数の方から要望があれば、臨時的に市政懇談会を開催します。	当日回答のとおり

ご意見等の要旨	回 答	その後の対応
市内の県立高校では、医師や弁護士などの難関資格の取得を目指すことは難しいため、市の教育委員会において、これらの難関資格の取得を目指せるような教育環境を整備してほしい。	市内の小中学校では、「生きる力と確かな学力の育成」を教育の基本目標の一つに掲げ、各学校長と連携して学力の向上に取り組んでいます。 市内の県立高校については、市で補助金を交付していますが、現状、市外高校への進学者が多く、市内高校は定員割れしている状況です。今後、市内の県立高校に投資するためには、市外から進学者を呼び込める学校にしていかなければならないと考えており、その具体策について検討していきますので、今後ともご意見をいただきたいと思います。	当日回答のとおり
矢田部・波崎地域の開発が進まない原因の一つに広大な農業振興地域がある。 将来の矢田部・波崎地域のことを考え、必要な農業地域と開発すべき地域に分ける取り組みをしてほしい。	土地改良事業を進めなければ波崎地域の発展は難しいと考えています。一方で、本事業を進めるためには、地権者の理解が不可欠ですので、現在、本郷高野地区で行っている事業を多くの方に見ていただくことで、地権者の皆様のご理解を得て事業を進めていきたいと考えています。	当日回答のとおり

ご意見等の要旨	回 答	その後の対応
本日の懇談会に先立ち、土合西地区として、地区加入率に関する市の考えを伺い、それに対する回答書を本日受け取ったが、回答内容に納得がいかない。改めて文書で回答をいただきたい。	後日、今回の回答書に係る対応についてご連絡させていただきます。	後日、市民協働課から土合西地区の区長さんへ下記のとおり回答しました。 【回答】 地区加入メリットの創出に向け、現在、他市町村の先行事例の研究を行っております。また、若年世帯の加入促進及び区役員の負担軽減を図るため、地区アプリの導入を進めており、このアプリの稼働がメリットの創出にもつながるよう進めてまいりますので、今後ともご意見をいただきたいと思えます。